

# 青梅市 自治会・支会 活動事例集

令和5年度版



編集・発行 青梅市、青梅市自治会連合会

## 自治会・支会活動事例集 目次

「限りない可能性を求めて」 第1支会	4
「第一支会避難訓練を経験して」 第1支会	5
「第52回を迎えた長淵地区（第二支会）市民運動会」 第2支会	6～7
「第三支会 第2ブロック（霞台地区自治会連合会）活動報告」 第2ブロック自治会連合会（第3支会）	8
「第三支会 第3ブロック活動報告」 第3ブロック自治会連合会（第3支会）	9
「畑中ハイキング」 畑中連合自治会（第4支会）	10
「ふるさと体験教室」 梅郷1・2丁目連合自治会（第4支会）	11
「自治会長・体育振興会 合同視察研修」 第5支会	12
「マルシェ（井戸端会議）」 二俣尾3丁目自治会（第5支会）	13
「ひまわりプール保存会活動報告」 第6支会	14
「富岡自治会『餅つき大会』」 富岡自治会（第6支会）	15
「花の寄せ植え会」 成木5丁目自治会（第7支会）	16
「東青梅2丁目第1自治会館では」 東青梅2丁目第1自治会（第8支会）	17
「東青梅5丁目自治会 活動報告」 東青梅5丁目自治会（第8支会）	18～19
「ハロウィーンイベントの開催」 新町5・6丁目自治会（第9支会）	20

「令和5年度 第10支会活動紹介」	
第10支会	21
「河辺北自治会 夏祭り」	
河辺北自治会（第10支会）	22
「ふるさと祭り2023」	
第11支会	23
「防災訓練」	
第11支会	24
《参考》	
東京都「地域の底力発展事業助成」	25～26
今回の活動事例集の中でも、この助成を受けた事業が掲載されています。是非ご活用ください。	

## 自治会・支会 事活動例集の発行にあたって

青梅市内には、令和5年度現在11の支会、163の自治会があり、それぞれの地域特性にあったさまざまな活動を展開しています。

魅力ある自治会・支会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている自治会活動を広く市民の皆さんにお知らせすることとしました。

各自治会の活動内容や、地域の安心・安全のための防災活動などを掲載していますので、自治会活動の参考にご活用ください。

青梅市・青梅市自治会連合会

# “限らない可能性を求めて”

「振る舞い輝く！！一中生」の声をお聞きください  
～3ない運動×SDGs(青梅一中バージョン)～を軸に頑張る

青梅市自治会連合会第一支会(青梅地区)  
支会長 京正 等

青梅第一中学校の生徒さんが地域社会とのかかわりを深めている清掃ボランティア活動などに焦点を当てて、参加している生徒さんに生の声を聞いてみました。生徒さんが社会貢献活動の高まりを肌で感じていることやボランティア活動に参加して成長している姿からは、学校運営側の前向きな取り組み姿勢も感じられます。

## 参加を決めた理由は何だったのか

青梅の町が少しでもきれいになればいいし、色々な経験を積んでみたいと思いました。お祭りでは沢山の人の協力があり、ボランティアの方もいて開催できるのだと実感したのが参加への後押しになりました。社会貢献活動が身近にあることが分かり、チャレンジ精神を發揮したいという気持ちもありました。人助けは自分を磨けるものだと思います。参加を決めました。

## 心がけていることは何か

人の話をきちんと聞いて、きびきび行動することを心がけています。



(ミニ青梅マラソン大会)

## ボランティア活動と地域の方々のメリット

自分が住んでいる町を清掃してきれいにする事で気分が良くなり満足できて、地域の方からも感謝の言葉や「ありがとう」のお礼を言われ、人のために活動することでの高揚感の高まりを感じました。ボランティア活動が生み出す力は、限らない可能性を引き出してくれる特別な鍵です。

自治会長さんや地域の方と交流しながらの清掃活動や地域メッセンジャーに取り組むことは、地域に与える影響は大きいもので、継続的にボランティア活動に参加する強い意志を感じました。

自治会はこの若い力を大事に育て、そして信じて自助・共助を推進するためにも、学校と自治会が連帯協働で地域のつながりを作り上げていくことができると信じています！！



(多摩川清掃)



(霞川清掃)

## ～第一支会避難訓練を経験して～

青梅市自治会連合会第一支会(青梅地区)  
支会長 京正 等

第一支会は毎年6月に総合防災訓練を天ヶ瀬グラウンドで開催しております。今回は気温が高く準備と当日はかなり大変な訓練になりました。各団体の役割を分担して住民が各訓練に積極的に参加するよう事前に周知を行いました。避難訓練の参加者は223名。その他に消防署・地域消防団・防災士・青梅女性防火防災の会・交通安全協会などで総員290名になりました。一時避難訓練完了後は各自治会から災害対策本部への避難者数と被害状況の報告訓練も行いました。

訓練会場を4つに分けて訓練

A 会場：応急救護訓練

B 会場：起震車による地震体験

C 会場：煙体験・防災・救助用品の展示、非常食体験

D 会場：初期消火訓練

4班のグループでそれぞれ20分間の訓練を体験出来ました。

災害はいつ何時に発生するか分かりませんので常日頃から近所の連携や協力が大切であることを理解しました。訓練に参加できなかった方や高齢者の見守り活動も今後訓練に取り入れる課題かと思われまます。

とても意義があった避難訓練でした。



応急救護訓練



起震車による地震体験

# 第 52 回を迎えた長淵地区(第二支会)市民運動会

第二支会 支会長 宇津木順一

第二支会では、第 52 回長淵地区市民運動会を令和 5 年 10 月 8 日、青梅市立第二小学校校庭を会場にして開催しました。

第二支会の大きな行事として春の調布大祭と秋の長淵地区市民運動会があります。



長淵地区市民運動会は令和元年は台風 19 号でやむなく中止し、令和 2 年、3 年、4 年はコロナ禍で開催できませんでしたので、今回は、平成 30 年に開催してから、5 年ぶりの開催となりました。コロナ感染防止を考慮して縮小した形での運動会になりましたが、令和になって最初の第二支会市民運動会を盛大に開催することができました。

## ○今回、第 52 回を迎えた伝統のある運動会です

第 1 回は、今から 51 年前、昭和 47 年に行われました。この年に運動会が始まった事情については記録がありませんが、青梅市が第二支会の地域である旧調布村と旧青梅町、霞村が一緒になって青梅市が誕生したのが昭和 26 年ですので、市政 20 周年にかかわっての運動会かと思われまます。旧調布村の地域は運動が盛んでしたので 20 周年を運動会で祝ったのではないかと想像しています。このように、本大会は 51 年の歴史のある第二支会伝統の運動会です。



## ○第二支会一体となつての地域あげての運動会です

この運動会は、市民運動会と名乗っているように、第二支会主催の下、青梅市、青梅市教育委員会後援、地元の消防団、交通安全協会、小・中 PTA、青少年対策委員会、環境美化委員会が協賛団体、地元高齢者クラブ、保育園、幼稚園、民謡会、祭典団体が参加団体となり、第二支会一体となつての地域あげての運動会です。



## ○第二支会の5町、駒木町、上長淵、下長淵、友田町、千ヶ瀬町の対抗で盛り上がる運動会です

運動会プログラムは、一般参加の「50メートル走」や「1000メートル走」、高齢者の「助け合いボール運び」、小学生の「紅白玉入れ」など自由参加の種目がありますが、地区(町)対抗の種目が主になっています。小中PTAの「夢いっぱいリレー」、青少年対策委員会の「メディシンボールリレー」、交通安全協会の「安全ドライバーリレー」、消防団の「防災リレー」、環境美化委員会の「リサイクルフロググリレー」そして自治会の「地区対抗リレー」など、各団体が工夫した町対抗の競技になっており、町対抗種目の得点で5町が勝敗を争います。各町の対抗意識が高まり応援も盛り上がります。



なお、各町のシンボルカラーも定められています。鉢巻きやたすき、リレーのバトンなど、決められた色で競技、対抗します。

## ○各町が応援席を設け、町が結束して応援し、競技を盛り上げます

各町がテントを張り、応援席を設けて観戦、声援します。通常は各町が特色ある幟旗を応援席に掲げますが、今回は縮小開催のため幟旗は省かれました。

## ○抽選会で運動会を盛り上げ、楽しんでいきます

閉会式の後、恒例になっている抽選会があります。自治会員全世帯に配布したプログラムには抽選券が付いており、運動会当日抽選箱に入れてもらいます。優勝チームの体育部長等が抽選券をひき、米や商品券が当たります。今年も抽選会をみんなで楽しみながら運動会を終了しました。

本年は5年ぶりの運動会開催で苦勞が多い中、支会役員、スポーツ推進委員、体育委員、協賛団体、参加団体等が連携協力して大会の円滑な進行に努めました。

5年ぶりの、しかも縮小した大会でしたが、第52回市民運動会を無事に盛大に開催することができました。



## 第三支会 第2ブロック（霞台地区自治会連合会）活動報告

第三支会第2ブロックは、吹上・野上第1・野上第2・野上第3・大門第2・大門第5・塩船の7つの自治会で構成されています。

今年度は、コロナの第5類移行もあり、行事もほぼ例年通りに開催できるようになりました。7月には、第2ブロック7自治会合同盆踊り大会を実施し、4年ぶりの開催でもあり大いに盛り上がりました。

10月15日には、従来の「市民運動会」に代わるイベントとして「健康な体作り大会」を開催し、元NHKラジオ体操講師3名をお招きし、ラジオ体操を約50分丁寧に指導してもらいました。また、総合体育館インストラクターのご協力をいただき、体力測定を実施し、筋力(握力)・柔軟性・敏捷性を測定しました。



ラジオ体操

ストレッチ体操は、吹上自治会長の指導で、高齢者でもできる無理のないストレッチ体操を指導してもらいました。

当日は、早朝からかなり強い雨が降っていましたが、第3中学校の体育館をお借りして、約200名の参加をいただき、新たな試みとしては、成功裏に終わることができました。

今回の試みは、従来の「市民運動会」は、自治会員の減少・高齢化に伴い、各自治会の選手集めや実行委員の確保が難しい状況となり、各自治会員の負担軽減を考慮して検討し実施したものです。

後日の反省会で出た課題・提案を検討し来年のイベント開催に活かしていきます。

10月22日には、霞台親和会主催のソフトボール大会を開催し7チームが参加。(この3年間はコロナの影響で中止)

ソフトボールは年に二回行っており今回が第99回で、来春の大会は第100回の記念大会になります。

自治会の課題として、自治会員の減少・高齢化・組織力の低下等が言われて久しいですが、各自治会独自の行事も復活してきており、各行事を通じて各自治会・第2ブロック・第三支会の連携をさらに深め自治会員はもちろん、地域全体の安心・安全な環境の醸成に努めていきます。



## 第三支会第3ブロック活動報告

第3ブロック 上田 實

第三支会第3ブロックは、谷野・木野下・今寺西・今寺榎・今寺第四・今寺第五自治会の6自治会で活動しています。

今年度は、地域の絆を取り戻すべく過去3年間中止の行事再開を行って参りました。

### ○「夏祭り」「盆踊り」開催

コロナ禍の影響で、3年間開催を中止していました「夏祭り」「盆踊り」を開催致しました。

4年ぶりの開催で、準備等で戸惑うこともありましたが、地域の皆様の協力もあり無事に行われ参加の方々も喜んで頂き盛大に実施する事ができました。



〔今寺西・今寺榎 夏祭り〕



〔今寺第四・今寺第五 盆踊り〕



〔木野下 盆踊り〕

### ○「スポーツフェスティバル 2023」開催

昨年に引き続き今年度も大門地区市民運動会に代わる行事として

「スポーツフェスティバル 2023」を開催致しました。

今年度は、昨年開催後の反省会にて『対抗種目』を取り入れて欲しいとの要望がありましたので「玉入れ」「ピラミッドリレー」等の対抗競技を取り入れて開催致しました。

参加者も昨年の281名から、今年度は450名の参加で、大いに盛り上がりました。



〔集合写真〕



〔テレビ・ラジオ体操〕



〔玉入れ〕



〔ピラミッドリレー〕



〔ダンスパフォーマンス〕



〔ブレイクダンス〕

# 畑 中 ハイ キ ン グ

第4支会 畑中連合自治会

畑中1丁目自治会から3丁目自治会で構成する畑中連合自治会では、11月23日（祝）に連合自治会主催の「赤ぼっこ」（標高409.5m）までのハイキングを実施しました。

過去からは畑中地区周辺の散策として、永山丘陵、ミニ七福神めぐり、赤ぼっこ等を実施しています。ここ4年間はコロナ禍や雨天により中止を余儀なくされてきました。今年は、昨年雨で中止となりました「赤ぼっこ」へ再チャレンジしました。当日は天候にも恵まれ、陽光のさす中45名が参加



しての実施となりました。畑中神社境内に集合した後、馬引沢を経て「赤ぼっこ」を目指しました。赤ぼっこまでの道は整備されており、歩きやすいコースとなっています。子どもから80歳代までと幅広い年齢層の方が参加され、半日の日程で和気あいあい秋のハイキングを楽しまれました。今後もハイキング等を通して、地域の皆さんの健康と交流の場づくりを進めていきたいと思ひます。



「赤ぼっこ」の整備は、和田町自治会が和田町森林組合の協力を得て登山される方に安全に楽しんでもらうため、年間2回の下草刈りを行っているほか、眺望案内板や赤ぼっこの由來說明板の設置を行うなど、地域の方で支えられています。



# ふるさと体験教室

第4支会 梅郷1・2丁目連合自治会

梅郷1・2丁目連合自治会では、東京都の令和5年度地域の底力発展事業助成金を活用し、ふるさと体験教室として、7月から10月にかけて子どもたちを対象にカヌー教室と囲碁将棋教室を開催しました。

開催にあたっては、6月から自治会役員等による打合せなどを複数回実施して内容を詰め、募集にあたってはチラシの回覧だけでなく各戸配布するとともに、PTAに協力いただき広報しました。

カヌー教室は、7月から8月

に梅郷1丁目の河原を使って11日間行い、延べ100人がカヌーの乗り降りからパドルの使い方、川の安全な場所の確認方法や緊急時の安全確保（浮いてま



て) を実践したほか、簡易キットを用いた川の水質調査を行いました。教室に参加したことで「夏が終わって子どもが頼もしくなった。」、「身近な場所で夏を過ごせることができるとても良かった。」や川の近くに住んでいる方からは、「久しぶりに子どもの賑やかな声が聞こえて楽しかった。」などの声をいただきました。

また、囲碁将棋教室は、7月から10月にかけて自治会館で14日間開催し延べ51人が参加しました。教室では、ルールも含め打ち方等の指導を受けながら楽しみました。そして、教室終了後も下郷囲碁将棋クラブに子どもたちが通ってきています。自治会館内には、子ども囲碁将棋図書コーナーもできました。

自治会のあり方として、地域の多様な繋がりを考える必要があります。この事業は、地域コミュニティの醸成とともに、自治会を知ってもらうための新たな取組として実施したものです。現在、こうした事業をきっかけに、色々なことに取り組む梅郷1・2丁目のこどもクラブ的な組織化を目指した動きができています。



## 第5支会「自治会長・体育振興会 合同視察研修」

青梅市自治会連合会第5支会長 平岡 孝  
(自治会数：11自治会、世帯数：699世帯)

第5支会では、役員の見聞を広め、知識向上を図るために、視察研修を行っています。自治会長の任期の1年目は、自治会長のみで行っていますが、2年目は体育振興会（体育部長、運営委員、スポーツ推進委員）との合同で行っています。

今年度は、任期の2年目に当たるため、体育振興会との合同で、11月26日（日）に、防災対策の先進事例を学ぶため、日帰りの視察研修を行いました。

視察先は、埼玉県春日部市にある「首都圏外郭放水路」で、参加者は、支会相談役、自治会長9名、体育部長4名、運営委員2名と事務局の18名でした。

「首都圏外郭放水路」は、首都圏の地底50mを流れる地下排水トンネルで、スタッフの案内のもと、水を溜め込む調圧水槽の階段を116段降りて、壮大な調圧水槽（地下宮殿）等を見学しました。参加者は、その大きさに、圧倒されていました。



「首都圏外郭放水路」を見学した後は、川越に移動し、川越の蔵の街を散策しました。

また、バスの中では、防災ビデオを視聴し、大雨や台風から命を守る対策などを学びました。

年に一度の視察研修ですが、見聞を広めるとともに、役員相互の親睦を図ることができました。

# マルシェ（井戸端会議）

**第5支会 二俣尾3丁目自治会（105世帯）**

**自治会長 久米 正寿**

自治会の役割とは、日頃は安心して暮らしているが、いざという時に、お互いが、スムーズに協力（共助）し合える環境作りを日頃から行っていく事であると思います。

このため、二俣尾3丁目自治会では、自治会加入世帯を増やす取り組みとして、自治会を退会して2年以上の世帯や新しく住まわれた方々等に、自治会加入の案内文を投函しましたが、大きな成果はありませんでした。

そのよう中、地元の方との話の中で、人々が分け隔てなく井戸端会議のような話し合える居場所を作り、「今の状況を変えるきっかけ作りを始めよう」とのことで、マルシェを開催することとなりました。



マルシェでは、月に一度、模擬店等を出店していますが、地元の多くの人に参加していただいています。

「近所にこんなに人が集まる場所が出来て本当にありがたい」「毎月楽しみにしてるよ」等々主催者側の心を揺さぶる声も寄せられ、従来とは異なる井戸端会議（居場所）を作ることができました。

また、二俣尾地区では、納涼会も行いましたが、自治会加入・非加入を問わず、参加していただき、その場を通じて顔見知りとなり、やがて近所付き合いに発展し、自治会に加入していただく機会提供の場になったと思います。今後とも工夫して推進して参りたいと思います。

## 第6支会 ひまわりプール保存会活動報告

ひまわりプールは1964年に地域の子供たちの手作りで作られ、1971年に青梅市の補助金を頂き、地域の方たちの協力により現在のコンクリート製となりましたが、少子化等の影響から2000年に閉鎖されました。

2020年に当時ひまわりプールで遊んでいた大人たちをメインにひまわりプール保存会を発足。青梅市当局のご協力を頂き、2022年に復活しました。

2023年は東京都より「地域の底力発展事業助成金」をいただき、数多くの機材(プロジェクター・スクリーン・ドローン・GoPro・テント・テーブル・マス他)を購入しました。

購入した機材を活用して、昨年も好評だった「ヤマメつかみ取り大会(漁協の好意によりヤマメに変更)」を開催しました。地元第七小学校生徒をメインに38名の参加を頂き、昨年同様に楽しんで頂きました。また、今年は購入したドローンを活用して上空からヤマメつかみ取りの様子を撮影したり、全員での記念撮影を行いました。

今年購入したスクリーン・プロジェクターを活用し、青梅市職員の方のご協力により、「プールで上映会+星空観察会」を開催。ひまわりプールにスクリーンを設置して映画鑑賞という他では経験出来ない体験が出来たと好評頂きました。星空観察会は残念ながら天気に恵まれませんでした、プロジェクターを活用した星座の話には興味をもって子供たちが聞きいていました。

イベント様子をひまわりプール公式YouTubeチャンネルにアップロードし、数多くの方にご視聴頂きました。

来年以降も引き続き、子供たちに喜んで貰える企画を考えていきます。



プールで上映会+星空観察会  
YouTubeチャンネル



## 第6支会 富岡自治会 「餅つき大会」

令和5年のフィナーレを飾り、今年も12月10日（日）の午前11時から午後2時まで、恒例となりつつある餅つき大会（今年で3年目）を、富岡1丁目自治会館前庭で開催しました。

蒸かした餅米を温めた臼の中に入れ、温めた杵で力強く・素早く餅にする。

出来上がる前に子どもたちに参加してもらい、餅つきを体験していただきました。

そうして出来たつきたての餅を磯辺餅・きな粉餅・おろし餅・あんこ餅などにして、来客の皆さんに食べていただきました。

けんちん汁やおでんも、それぞれ80人分用意し、また大人向けにビールや日本酒などのアルコール各種を用意しました。子どもたち向けには、お茶やジュース類も用意しました。



自治会の皆さまに対して、この1年間のご協力に感謝を込めて食べ放題、のみ放題で、すべてが無料のイベントです。

今回は、自治会関係者と地元有志の約20人が開催にご協力いただきました。あいにく小学生は、インフルエンザのため、ほとんどのクラスが学級閉鎖となり、外出禁止令が出たため参加できませんでしたが、天気は快晴で気温も約20度近くまで上がり、地元の方たち約60人に参加いただき、盛り上がりの中で終わることができました。

# 花の寄せ植え会

第七支会 成木5丁目自治会 59世帯

コロナ禍により自治会活動も制限されていましたが、今年度初めての取り組みとして地域の活動に会員様が参加できるようにと、冬の花の寄せ植え会を11月23日に実施いたしました。

12月のクリスマスも近い事もあり、クリスマスツリーをイメージした寄せ植えとサンタ・流木をデコレーションして、楽しんでいただきました。

参加人数 大人19名 子供 3名

今後も季節に応じた花や多肉植物を使ったガーデニングを楽しみたいと思っております。





## 第八支会 東青梅2丁目第1自治会館では

東青梅第2自治会館では平成29年からダーツ、令和3年からポッチャを楽しんでいます。コロナ禍で一時休んだものの今では8人から10人の参加があり、ポッチャ、ダーツ共に障害者と一緒に楽しくプレイしています。

ポッチャは土曜日のAM10時から。練習はじめに120インチスクリーンにポッチャのやり方やルールの解説とラジオ体操を上映しています。



2対2のペア戦



ターゲットマットを使っでのチーム戦

ダーツは土曜日の午後1時半から。カウントアップとゼロワンゲームを各2回戦やります。途中にお茶会を挟み和やかにやっています。



33練習で11のトリプルを一投で射た最初のメンバーです

**認知症予防にお勧めです。** ウォーミングアップ中

2月4日(日)に総合体育館で開催されるポッチャ大会にはじめて出場します。2チーム計10人での参加です。皆で大会を楽しもうと話合っています。

毎年3月の第1日曜日に親睦ダーツ大会を開催しています。大会終了後は表彰式と親睦会を開催します。



ポッチャ/ダーツに興味のある方は練習日を確認の上、見学にお出かけ下さい。

## 第8支会 東青梅五丁目自治会 活動報告

会長 金子哲治 世帯数 314世帯

### コロナ禍で停滞した自治会活動をとりもどす ～東五サマーフェスティバル～

東青梅五丁目自治会では、令和5年8月に自治会独自のイベント「東五サマーフェスティバル」を開催し、幼い子どもから高齢者までおよそ300人が参加しました。

この催しは、コロナ禍でしばらく休んでいた自治会活動を再開し、会員同士の交流を図ろうと企画したものです。

#### 「今年こそ盆踊り」高まる期待が…

今まで、東五自治会を含む師岡地区の五つの自治会が合同で、夏に愛宕神社・准胝(じゅんてい)観音のお祭りとして、師岡会館を会場に盆踊りを開催していましたが、コロナの影響で2年間中止に。令和5年5月にコロナ感染症が2類から5類に引き下げられたものの、今年度のお祭りも開催を見送ることとなりました。

そこで、東五自治会だけでも盆踊りと模擬店を行って皆で盛り上がろう、という意見が自治会内に上がり、役員会に諮ったところ全員の賛同を得ました。皆さんイベントでの人との交流を求めているようでした。



子どもたちに踊りを指南して異世代交流

#### いろいろ工夫しました

フェスティバルの開催時間は午後4時から8時までなので、明かりが要ります。本来なら電気工事をして提灯を設置するのですが、急遽考えたイベントです。そこで早道公園の夜間照明を使いました。また、他の自治会の盆踊りを見学に行った役員から、輪の中央にはやぐらが欲しいという意見が出ました。検討の結果、工事の足場パイプを組み立て、紅白幕を張ったやぐらにしました。人は登って踊ることはできませんでしたが、盆踊りの雰囲気は出たと思います。

#### 当日のようす

フェスティバル当日、夕方になると次第に人が集まり始め、近年見たことのない賑わいです。まずは模擬店で腹ごしらえ。模擬店は、



模擬店に並ぶ長蛇の列

焼きそば、フランクフルト、ポップコーン、かき氷、一杯 100 円の生ビール。子ども会では的当て、スーパーボールすくいを担当し、いろいろ楽しめる内容です。特に焼きそばは絶えず 50 人近い長い行列ができ大好评でした。

薄暗くなって盆踊りが始まりました。皆さん踊っていくうちに気分が高まり、最後には二重三重の大きな輪ができました。全員参加の、まさに大団円。賑わいが最高潮に達しました。

会員の皆さんは、ようやく戻った開放感のもと、夏の夜の楽しいひとときを過ごしていました。



みんな輪になって

## 新年はじめの餅つきで 今年も運がつきまくり ～東五もちつき会～

東五自治会では、令和 6 年 1 月 14 日に東五会館のある早道公園でもちつき会を開催し、およそ 100 人が参加しました。昨年度、毎年行っていた新年会を餅つきに変更したところ、好評だったことから引き続き行ったものです。このもちつき会は、コロナ禍前は子ども会の行事でしたが、子どもの数の減少などにより、自治会全体で行う形になりました。

今回使ったもち米の量は 12 キログラム。子どもから長老まで、皆さん和気あいあいと餅つきを楽しみ、つくたての餅を味わっていました。



ついたお餅をせっせと調理します

# ハロウィーンイベントの開催

新町五・六丁目自治会 会長 山口修司

令和5年度の新町五・六丁目自治会のお祭りは、昨年度と同じくハロウィーンイベントとして開催致しました。

今年は新町中学校の生徒、25名にボランティア活動としてお手伝いしていただきました。

1. 開催日時 令和5年 10月29日(日) 13時00分～15時30分
2. 開催場所 新町クラブ(子育て支援センターはぐはぐの場所)
3. 開催内容
  - ・仮装
  - ・スタンプラリー
  - ・屋外ゲーム: 輪投げ、ベーゴマ
  - ・室内ゲーム等: ルービックキューブ、知恵の輪、けん玉、お手玉、マナー豆(箸で豆を移動させるゲーム)、塗り絵、その他ゲーム
  - ・駄菓子、飲み物の配布

4. 参加人数 参加者・お手伝い・スタッフを含めて約150名

※参加していただいた方、及びボランティアの中学生にも、喜んでいただけたものと思っています。

トトロとネコバスなどの仮装



ベーゴマ



輪投げ



お菓子の配布



# 令和5年度 第10支会活動紹介

青梅市自治会連合会第10支会

支会長 嶋田 稔

## ○みんなで参加した「河辺地区防災訓練」

河辺地区防災訓練は、地域住民と関係機関が一体となって、人命・財産の安全を図るとともに、訓練を通じて地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的として9月3日（日）に実施しました。

当日は、河辺地区にお住まいの方を対象に、14の自治会、青梅女性防火防災の会第10支部、青梅消防署長淵出張所、消防団第2分団第6部、消防団第8分団第4部、河辺小学校他の皆様方の御協力をいただき、234人が参加しました。

訓練方法といたしましては、まず各自治会が決めた場所に集まり「安否の確認」を行い、訓練場所である河辺小学校に移動し、「避難者数」の報告を行いました。

河辺小学校の校庭では、初期消火訓練、煙体験、スタンドパイプ展示と説明、放水訓練、体育館内では、応急救護訓練、通報訓練の場所を設け、各自治会ごとに訓練する順番を決めて、全ての訓練を体験できるように工夫しました。

訓練は、時には厳しい眼差しで、時には楽しくかつ真剣に取り組んでいました。特に初期消火訓練は、身近にありながら普段扱うことがない消火器について、訓練を通じて学んでいました。

また、青梅消防署よりはしご車をお借りし、展示するとともに搭乗体験を実施しました。実際にはしごを最長に伸ばしたところに搭乗できるので、子供たちには大人気で訓練終了近くまで順番を待つほどでした。

今回の訓練は4年ぶりに実施されましたが、準備にあたりやや不完全な部分がありましたが、皆様方の御協力をいただき、何とか無事に行うことができました。

反省すべき点といたしましては、当日は、徐々に気温が上昇し、熱中症の心配も懸念されたので、次回は水分補給をもっと充実するよう御指摘をいただきました。

災害は、いつ何時にやってくるのかわかりません。この訓練を通じ、平時における防災意識を高め、いざという時に役に立つことを願うばかりです。



# 第10支会 河辺北自治会 夏まつり

第10支会 河辺北自治会 会長 高橋 誠

河辺北自治会は、河辺駅北側の河辺町9丁目10丁目の自治会です。自治会活動において、お祭りをどのように開催するか、それぞれの立場でご検討された方が多いと思います。令和5年度に実施しました “河辺北 夏まつり” を皆様のご参考にご報告いたします。 **主催：河辺北自治会 / かべきた爽健の会(高齢者クラブ) / 竹の子子ども会**

## ○自治会でのアンケート結果を反映

近隣自治会と共同開催を検討しましたが、アンケートでは河辺北自治会独自の開催希望が多く、伝統的な “盆踊り” の希望もありました。河辺北会館前の広場が櫓を組んでの盆踊りには狭いですが、独自開催であれば会館前広場での実施としました。その結果、準備も楽で広場や前の道路も盛況で正解でした。

## ○櫓から簡易ステージに変更

以前使用していた立派な櫓は、高さがあり危険なため、コロナ禍に処分しました。今回初めて、パネルを敷いた簡易ステージを使用し、ステージの出し物と伝統的な祭りの融合を試みました。その結果、幅広い世代が楽しめて、とても好評でした。



大勢待 竹の子子ども会会長(現青梅市長)による電子ピアノ演奏

## ＜ステージでの出し物＞

- お囃子(谷野囃子連の皆様)
- マジックショー(河辺デイサービス)
- 電子ピアノ演奏(竹の子子ども会)
- けん玉パフォーマンス(同上)
- 東京音頭(かべきた爽健の会)  
ステージにて会場の子供たちに伝統的な盆踊りの楽しさを教えていただき、伝統を維持する目的も果たせました。
- カラオケ(事前エントリーの皆様)  
歌自慢の皆様に加え、井上衆議院議員や会場の方々にも飛び入り参加していただきました。自治会長も気持ち良く歌いました。
- レクダンス(かべきた爽健の会)



## ＜模擬店＞

焼きそば: フランクフルト: たこ焼き: ポップコーン  
かき氷: わた菓子: サイリウム・ヨーヨー: 射的



カラオケで赤ちゃんを抱いた若いパパが飛び入り参加



ステージ前に椅子を多く配置してゆっくり楽しんでいただきました。

来年度はダンス(人気チーム)や書道パフォーマンス(ことがわら学園)をお願いし、さらに盛況な祭りを目指す予定です。是非お立ち寄りください。 以上

## 第11支会

# ふるさと祭り2023

第11支会 支会長 吉 永 信 之

第11支会地区では、地域のお子様から年配の方まで老若男女を問わず、多くの皆さんがふれあい、親睦を深める事を目的に、例年10月の最後の日曜日に、ふるさと祭りを開催しています。

今年度も10月29日に今井市民センターを会場に行いました。

実施に当たっては、支会・自治会の役員の方はもとより、消防団第3分団第3部・4部、交通安全協会第15支部、女性防火防災の会第11支部、藤橋地区環境美化委員会、青少年対策委員会、スポーツ浮島会、藤若囃子連をはじめ、西東京農業協同組合、今井駐在所、地元商店など、地域の多くの皆さんのご協力をいただき、開催することが出来ました。

当日は、わたがし、ポップコーン、フランクフルト、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくいなどの模擬店やバザー、スタンプラリー、山車を配置してのお囃子、地元商店による団子販売、警察・消防車両の展示、女性防火防災の会による災害用トイレの啓発の他、体育館を使用しての青少年対策委員会によるゲームコーナーなど、盛りだくさんの催しが行われ、同時に市民センター文化展も開催されており、お子様から年配の方まで約500人の方が来場され、賑やかに開催することが出来ました。

来場された方は、お互いにふれあいながら、それぞれ思い思いの催しに参加するなど、ふるさと祭りを楽しんでおられ、住民相互の理解や交流を促す良い機会となりました。今後とも、こうした取り組みにより、より良い地域コミュニティづくりが出来るよう、自治会活動を進めていきたいと考えております。



## 第11支会

# 防 災 訓 練

第11支会 支会長 吉 永 信 之

第11支会地区では、例年8月の最後の日曜日に防災訓練を実施しております。ここ数年は、コロナの影響から、訓練に代わり防災関係のパンフレットの配付や訓練内容を大幅に縮小しての開催などの対応を余儀なくされてきましたが、今年度は、8月27日に、例年のような訓練を実施する事が出来ました。

訓練にあたっては、支会の各自治会を中心に、地区の防災対策委員会のメンバーであります支会未加入の4自治会、消防団第3分団第3部・4部、交通安全協会第15支部、まとい会霞東支部、女性防火防災の会第11支部、防災士、民生児童委員、藤橋小学校、今井小学校、第三中学校、新町中学校、今井駐在所、青梅消防署など、多くの皆様に、ご理解とご協力をいただきました。

当日は、今井市民センターに本部を設置し、藤橋小学校と今井ふれあい公園の2箇所の会場に分かれて訓練を行いました。今年度は、避難訓練、通報訓練、初期消火訓練、パタット担架を使用した救出訓練、段ボールベッド組立て訓練、非常食体験訓練を両会場で行うとともに、藤橋会場では、防災倉庫の備蓄品の確認を、また今井会場では、ソーラー蓄電器を使用したスマホ充電体験も行い、269名の参加をいただき、充実した防災訓練を実施する事が出来ました。

また、防災訓練の他、防災講演会を実施するとともに、今年度は東京都の「関東大震災100年 町会・自治会防災力強化助成」を活用して、各自治会において自治会館への防災備蓄品の購入や自治会員への防災用品の配付なども行い、住民の防災への意識啓発や防災力の向上に取り組みました。



▲藤橋小学校



▲今井ふれあい公園



# 「令和6年度東京都地域の底力発展事業助成」 町会の地域活動にご活用ください!

東京都は、地域活動の担い手である町会・自治会が主催して行う地域の課題を解決するための取組（催し・活動等）を支援するため、「地域の底力発展事業助成」を実施します。

## 事業の概要

1 対象団体 都内に所在する町会・自治会

2 対象事業

(A) 地域の課題解決のための取組（地域の祭り、盆踊り、交流イベント等）

(B) 都が取り組む特定施策の推進につながる取組5区分

●防災・節電活動 ●子ども・若者育成支援（旧：青少年健全育成活動から名称変更し、子ども・若者の主体的な取組を促進） ●高齢者等の見守り活動 ●防犯活動 ●多文化共生社会づくり

(B-s) 都が緊急に取り組むべき特定施策の推進につながる取組

●デジタル活用支援

(C) 複数の単一町会・自治会が共同して実施する地域の課題解決のための取組

(D) 単一町会・自治会が他の地域団体と連携して実施する地域の課題解決のための取組

3 助成限度額

対象事業 (A) (B) 単一町会・自治会 20万円 地区連合町会 100万円  
区市町村連合会 200万円

対象事業 (C) 単一町会・自治会（共同）50万円

対象事業 (D) 単一町会・自治会（連携）30万円

4 募集期間

募集回	募集期間	交付決定時期	申請できる事業の実施時期
第1回	受付期間：令和6年3月1日（金）～3月8日（金） ※原本提出締切り：3月14日（木）午後5時（必着）	4月上旬	4月1日以降に実施する事業
第2回	受付期間：4月1日（月）～5月13日（月） ※原本提出締切り：5月31日（金）午後5時（必着）	7月上旬	7月10日以降に実施する事業
第3回	受付期間：6月3日（月）～8月9日（金） ※原本提出締切り：8月30日（金）午後5時（必着）	10月上旬	10月10日以降に実施する事業
第4回	受付期間：9月2日（月）～10月18日（金） ※原本提出締切り：11月1日（金）午後5時（必着）	12月上旬	12月10日以降に実施する事業

★事業の詳細はホームページをご覧ください★

<http://bit.ly/2uV9HZU>

地域の底力

検索



\*ホームページは検索エンジンから、「地域の底力」で検索してアクセスすることもできます。

《お問合せ先》

東京都 生活文化スポーツ局 都民生活部 地域活動推進課 地域活動支援担当

電話：03-5388-3166 FAX：03-5388-1331

メールアドレス：s1121202@section.metro.tokyo.jp

## 主な変更ポイント

### (1) 事業区分「防災・節電活動」の助成率を引き上げ

- ・事業区分B-1「防災・節電活動」の助成率を1/2から10/10に引き上げます。

### (2) 助成率の特例措置の内容を変更

- ・助成率が助成対象経費の1/2になる場合でも、取組の中に「地域防災力の強化」かつ「多文化共生社会づくり」につながる活動が含まれている場合、助成率は10/10となります。

#### 【活動例】

- ・防犯パトロールとあわせて町内の危険箇所や防災設備の点検を実施。周知にあたっては、参加案内チラシを英語とやさしい日本語で作成の上、外国人住民にも参加を呼び掛ける。
- ・地域の盆踊り大会において、災害への備えについて説明したチラシを参加者全員に配布して注意喚起する。チラシはやさしい日本語で作成し、やさしい日本語の意義についても説明する。

※本事業のホームページに、地域防災に関する普及啓発及び多文化共生に関する理解促進のためのチラシ例を掲載しております。こちらを地域の状況に合うように加工の上、説明・配布していただくと、助成率の特例を受けることができます。

## 申請サポートプラスについて

### (1) 申請サポートプラスとは??

- ・WEBフォームに入力してだけで、PCやスマートフォンからかんたんに申請書の作成を行うことができます。
- ・申請時に必要な「交付申請書」「事業計画書」「収支予算書」の3つを作成できます



### (2) 利用の流れ ※令和6年度の申請書は3月1日から作成できます

#### STEP 1

「申請サポートプラス」HPへアクセス

アクセスはこちらから → <https://m.metro.tokyo.fom.supportnavi.jp/>



#### STEP 2

必要事項を入力して、PDFとCSVデータの2つを保存

#### STEP 3

必要書類と一緒にメールで東京都へ送信

都からの連絡後、完成した書類に押印の上、提出。

メール：s1121202@sect0n.metro.tokyo.jp





青梅市自治会・支会活動事例集  
(令和5年度版)

令和6年3月発行

編集・発行：青梅市・青梅市自治会連合会

問合せ：青梅市市民安全部市民活動推進課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL 0428-22-1111 (内線 2322)

青梅市 HP <https://www.city.ome.tokyo.jp>

メールアドレス：div0940@city.ome.lg.jp

青梅市自治会連合会 HP <https://www.ome-rengou.jp>